

いぶり火山マイスター検討委員会専門部会(第3回)議事録

議事2 火山マイスター制度の素案検討について

(1) 資料1により、「火山マイスター制度(素案)」について事務局から説明

- ・ 第2回専門部会での議論を踏まえ事務局が作成したもの。
- ・ 本日の議論で専門部会の成案とし、次回検討委員会に提案したい。

(2) 素案に関する意見交換

(北大名誉教授 岡田弘)

- ・ いぶりジュニア火山マイスターの位置づけを考えると「ジュニア」という名称はふさわしくない(1級、2級とか上級、初級などでは)。
- ・ いぶりジュニア火山マイスターといえども無条件に称号を与えるのではなく、火山マイスター憲章を作って、その遵守を宣誓させるなどの工夫が必要。また、除名の仕組みもあった方がいい。
- ・ 火山マイスターの名称は、「洞爺湖有珠火山マイスター」とすべき。
- ・ 「1 火山マイスターとは？」の記載について
 - ・ 「災害と火山の恵み」について項目立てすべき。
 - ・ 「周辺の動植物などに関する事」の説明に、噴火によって死滅した植生の段階的回復に関する内容を盛り込むこと。
 - ・ 地形が変化する有珠山の特徴を内容に明記すること。
 - ・ 「自然に配慮」については、「自然の適切な保全と利用」など具体的な記載が望ましい。
 - ・ 「リスクマネジメント」の内容に、地熱帯の存在など、火山特有のリスクマネジメントについても盛り込むこと
- ・ 地元で実施される学習会等について、年度初めに全ての情報提供はできないが、前年度の実施状況を提供すると参考になるのではないか。
- ・ 立ち入り規制区域について
 - ・ 自然の保全と、危険区域の明確化という両面の観点での再検討が必要。
 - ・ 何のための規制か、信念を持って決めなければ世界に通用しない。
- ・ ジオパーク登録活動を進めるなら、旧国道230号に生じた断層を見られるコースづくりなど、

最低限の整備が必要。

（北大名誉教授 宇井忠英）

- ・ いぶりジュニア火山マイスターの位置づけを考えると「ジュニア」という名称はふさわしくない（1級、2級とか上級、初級などでは）。
- ・ 支庁事業終了後（H21以降）の運営体制について、今からしっかり議論しておかなければ、制度の継続性は望めない。

（三松正夫記念館館長 三松三朗）

- ・ 素案の「いぶりジュニア火山マイスター」を火山サポーターとしてはどうか。
- ・ 全ての分野をマスターするのは難しい。特定の分野の火山マイスターもありでは
- ・ 養成講座で料金を徴収すると、料金に見合ったメリットを期待させる可能性もある。保険料やバス代などの実費程度でいいのではないか。
- ・ 火山マイスターの名称は、「洞爺湖有珠火山マイスター」とすべき。
- ・ 専門家に、シニアマイスター（仮称）に就任してもらってはどうか
- ・ 立ち入り規制区域は必要だが、目的は明確にすべき

（洞爺ガイドセンター代表 小川裕司）

- ・ 火山マイスター取得後も、努力次第で位が上がっていくような仕組み（星の獲得など）があると励みになるのではないか。
- ・ 立ち入り規制のレベル分けみたいなことも考えられないか
- ・ いぶりジュニア火山マイスターのための養成講座と、火山マイスターをめざす者の養成講座を分けて、後者は料金を徴収することで、レベルアップの効果が得られるのでは

（有珠山ガイドの会会長 土井鉄雄）

- ・ 現在の立ち入り規制区域の緩和を検討して欲しい。特に西山火口までの散策路の延長（のための規制区域の緩和）について考えられないか。

（洞爺湖周辺エコミュージアム推進協議会事務局 田鍋敏也）

- ・ フットパスは不特定多数が自由に利用し、立ち入り規制区域は火山マイスター同行のイメージではないか。

- ・火山マイスター制度の将来の運営は、エコミュージアム推進協議会が担うことも自然な方向の一つで、検討する価値はある。

議事3 今後の事業の進め方について

- ・資料2により、今後の事業の進め方について案を説明。
- ・火山マイスターフォーラムについて
 - ・開催は2月29日（金）18：30～21：00で調整する
 - ・制度の概要説明は、座談会の前が望ましい
 - ・講演1時間、座談会1時間半のイメージ
- ・養成講座について
 - ・6月に予定している養成講座（野外実習）を4月下旬～5月中旬に前倒しし、2月に予定しているプレ養成講座は不要
 - ・来年度は、座学、現地各1日をワンセットとした養成講座を土日に開催する方向で検討

議事4 第2回検討委員会の開催について

- ・第2回検討委員会の開催は、1月21日（月）13：30から、伊達市防災消防センターとする。（詳細別途調整）

まとめ

（主な合意事項）

- ・火山マイスターの正式名称は、「洞爺湖有珠火山マイスター」とする。
- ・素案の「いぶりジュニア火山マイスター」を「火山サポーター」とする。
- ・H21以降の運営は、エコミュージアム推進協議会で行う方向で調整する。